

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	全ゲノム／エキソン解析による肺癌発症等に関連する遺伝子多型の研究
	研究目的	本研究は、肺癌患者の全ゲノム／エキソンの遺伝子塩基配列解析結果をもとに、肺癌の発症自体や、治療薬に対する効果、副反応に関係する遺伝的素因（遺伝子多型）を探索して、肺癌発症の予防や肺癌治療の個別化に資することを目的とする。
	研究期間	西暦 2016 年 9 月 15 日～西暦 2026 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	宮城洋平
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	呼吸器科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	東京大学医科学研究所附属病院抗体・ワクチンセンター 教授 醍醐弥太郎 理化学研究所・生命医科学研究センター チームリーダー 桃沢幸秀